

1915  
2010  
9/1

# 府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人／平井 賢治 編集人／小山 智美  
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

府労組連  
現業決起集会開催  
9月7日(火) 18:45~  
たかつガーデン  
2F コスモス

## 橋下「財政構造改革プラン」で 府民生活はどうか

府職労自治研集会開かれる 8月29日

新政権の「地方主権戦略」は、新自由主義路線から決別していない  
記念講演で鶴田先生は、民主党政権の地域主権は我々が期待したものとは違い、小泉政権以上に「小さな政府」を志向しており、地域が元気になる手立ては全く考えられていないこと、たとえば、義務付け・枠付けの見直しとして、

「施設・公物設置管理の基準」の緩和が地域主権改革推進一括法案で出されてきているが、ナショナルミニマムの否定につながる危険(例)さらなる詰め込み保育、防災・衛生上問題のある保育所の増加等)を報告されました。

また、橋下知事のすめ大阪発の「地方分権改革」は、新自由主義をストリートに府庁に持ち込むものであり、分権の名による

鶴田先生は、福祉国家の今後の方向性として連帯型地方自治をめざすべきとし、府民の役割として、

集権を行なうとしている(市町村を中核市程度に再編・人員削減だけのコストメリットを強調、当面大阪都構想)、橋下提案では、「融合から分離へ」を強調、競争的分権を提唱されており、住民参加の認識の欠如、ナショナルミニマムの捉え方が極めて狭いなどの問題点を指摘されました。

府民の中に入り  
府民の目線で  
共同のとりくみを  
すすめよう  
シンポジウムは4名のパネラー、鶴田先生をコーディネーターで行なわれました。

障害者(児)を守る全大阪連絡協議会の井上泰司さんは、「プラン」では、財政再建プログラムのたまたかの中で撤回させた重度障害者医療助成制度の見直しをまたごう出している

大阪府は市町村をよの困難にしているだけで、「乳幼児医療費助成制度」は全国最

## 幅広い団体と学びあい 職場から元気に運動をすすめよう

8月29日(日)府職労自治研集会全体会が、エル大阪にて開催されました。午前中、関西大学教授の鶴田廣巳先生の「地域主権戦略と橋下維新改革を問う」と題した講演と基調報告、午後からは「橋下「財政構造改革プラン」で府民生活はどうか」と題したシンポジウムが行なわれました。集会には、全体で87名が参加しました。

基礎自治体を支え、住民生活を発展させるには道州のような広域行政ではなく、府県による支援が不可欠と主張されました。

低(全国同時実施で同一条件なのに全国水準より極めて低い「妊婦健診無料化」(低く調整した大阪府)の例を挙げて報告されました。

弁護士の城塚健之さんは、「公務の市場化」について、住民が「主権者」ではなく「公共サービス」という「商品」を購入する「消費者」となり、国民の

人権保障に対する壮大な無責任体制であると説明され、しかし自治労連の運動の中で見直しさせる例も出てきており、国民の中に訴えていくことの重要性を指摘されました。

## 大阪経済で大きなウエイトを占める 農業を守り発展を促す

都市農業と大阪府農政を考えるシンポジウム

8月21日(土)、府職労自治研集会の企画としてとりくんだ「都市農業と大阪府農政を考えるシンポジウム」は、府、衛生都市の関係職員、生産者、消費者、研究者など50人の参加で成功しました。

基調講演にたった大西敏夫氏(和歌山大学教授)は、民主党政権下で、食糧自給率50%、農地総量確保という意欲的どころる政策が打ち出されているが、それには大胆な政策転換が求められるとし、特に都市農業については、都市計画の分野からも、大きい価値が認められ、自治体農政の拡充とあわせて、都市計画制度と税制の見直しが必要だ

大阪府の農業は、府民生活、大阪経済のなかで大きなウエイトを占めています。研究所独法化など、大阪府農政の動向が、都市農業の多様な価値を切り捨てるものであることを強く感じました。



大阪府は市町村をよの困難にしているだけで、「乳幼児医療費助成制度」は全国最

大阪府の農業は、府民生活、大阪経済のなかで大きなウエイトを占めています。研究所独法化など、大阪府農政の動向が、都市農業の多様な価値を切り捨てるものであることを強く感じました。

「核抑止力は我が国にとって引き続き必要だ」と語っています。核保有国の代表者どう聞かされたのでしょうか。市民運動家から政界に転身した菅首相あなたも「ぬげさく」ですか。(T)

## 遊歩道

猛暑のなか涼みがてらに入った本屋で手にとった浅田次郎著「終わらざる夏」

8月という季節は、なんとなくこういいうジャンルの小説を読みたくなるものです。沖繩が陥落し、「一億玉砕」を叫ぶ大本営。敗戦間ちかのこの時期、紙の賣も悪くなった赤紙一枚で召集される兵士。「大本営のぬげさくども」「こんな戦を続けているお国が『ぬげさく』というさまでまな思いをもちながら戦地に向かいます」今年の広島平和記念式には、はじめて潘基文国連事務総長をはじめ核保有国の代表者も出席していた。事務総長は来日早々長崎にも訪問し、「核の危険を排除するには核兵器を全廃するしかない」という強烈なメッセージを発しています▼一方記念式で菅首相は「我が国は『核兵器のない世界』実現に向けて先頭に立って行動する道義的責任を有している」と挨拶し、多くの日本国民の願いを代弁していた。しかし数時間後の記者会見場では「核抑止力は我が国にとって引き続き必要だ」と語っています。核保有国の代表者どう聞かされたのでしょうか。市民運動家から政界に転身した菅首相あなたも「ぬげさく」ですか。(T)